

## インドゾウへのタイヤによるエンリッチメントの取り組みについて

○菊村風穂, 秋元哲, 松元悠一郎, 鈴木大河

鹿児島市平川動物公園で飼育しているインドゾウのアンリー(メス, 推定 1976 年生)は蹄を治療中で, 蹄を清潔に保つために運動場での砂場やプール遊びを制限している. 行動の選択肢を増やすため, バスのタイヤを提示した. 運動場の広さは約 18m×25m で, 地面はコンクリート敷きのゾウ舎第 2 運動場にアンリーを放飼し, タイヤを提示しない 2021 年 9 月 2 日, 3 日, 4 日(対照区)と提示した 2021 年 9 月 9 日, 15 日(タイヤ区)の, 放飼(9:10)から収容(15:20)までをビデオカメラで録画し, 以下の行動目録について(採食, 飲水, 佇立, 伏臥横臥, 移動, 慰安, 探査, 異常, 排泄, その他)1 分間隔の瞬間サンプリング法にて記録し比較した. 運動場内のプールは水を抜いた状態とし, タイヤは外壁に消防ホースで繫留した. 餌は 9:10, 11:30, 13:30 にそれぞれスーダン 7kg, 5kg, 3kg を与え, 水飲み場がないため, ホースで外壁から運動場に放水した. 暑さ対策で 10:40~10:50, 14:30~14:45 の間, 運動場に打ち水した後, 放水の勢いを強めた. 結果としては, タイヤの匂いを嗅いだり, 消防ホースを足で踏んで鼻で引っ張るなどの行動は 1 日目, 2 日目でそれぞれ 3.4%と 1.5%観察された. 2 日目にはタイヤへの関心は薄れてきており, 時折鼻で触る程度だった. タイヤを提示することによって提示する前と比べ, 採食行動が 4%, 移動行動は 2%, 探査行動は 2%増加し, 慰安行動は 4%, 異常行動は 4%減少した. 以上より, 今回の方法ではタイヤによるエンリッチメント効果は低いものと考えられた. 適切なエンリッチメント手法の検討のため, 今回のデータを活用したい.

○第30回(公社)日本動物園水族館協会ゾウ会議

令和 3 年 10 月 26~27 日

WEB 会議(札幌市円山動物園開催)